

インクルーシブな発想で学校をつくる

青山 新吾

Shingo Aoyama

人間生活学部／児童学科

准教授／博士（学術）



研究業績データベース



YouTube公式動画

キーワード

インクルーシブ教育／特別支援教育／発達臨床／学校変革研究

研究概要・実践活動

すべての子どもを包摂し共に暮らし学べる「インクルーシブ教育」の実現を目指して研究を進めています。特別支援教育の視点を通常学級の教育に生かし、教員が多様な子どもと向き合いながらインクルーシブ教育に取り組めるようになる変容プロセスを、エピソード語りやインタビューの分析から明らかにしています。また、文部科学省、国立特別支援教育総合研究所や県・市教育委員会や学校、地域機関と連携し、研修や教員のキャリア形成支援にも取り組んでいます。理論と実践を往還しながら、「インクルーシブな学校教育」の構築をめざしています。



世界自閉症啓発デー学生プロジェクトのインスタライブ配信



学生と学校教員、教育行政のコラボによるインクルーシブな学校づくり研究会



小学校インクルーシブプロジェクトのカンファレンス風景



インクルーシブな学校づくり研究—軽井沢風越学園で—



マルチプルインテリジェンスを活用した「学習者の視点」からの授業づくり

研究・社会活動実績

インクルーシブ教育と特別支援教育を中心に、通常学級での教育変革や教員のキャリア形成を研究しています。研究成果をもとに、教育委員会・学校・外部機関と連携した実践支援を行い、地域のインクルーシブ教育推進を志向しています。実践と理論を往還し、すべての子どもが学び育つ「インクルーシブな学校教育」の構築をめざしています。

産学官連携の可能性

インクルーシブ教育や特別支援教育の知見を基盤に、教育現場・行政・企業との協働を進めています。インクルーシブな学校教育づくり、人材育成プログラムの開発、「対話型研修コンテンツ」の共同制作など、多様な分野との連携が可能です。共生社会の実現に向け、研究と実践を結ぶ協働をめざします。

歌で育む感性と表現

池田 尚子

Hisako Ikeda

人間生活学部／児童学科

教授／学士（音楽）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

声楽（日本歌曲、ドイツ歌曲、オペラ、演奏研究）

研究概要・実践活動

私の研究は、日本歌曲・ドイツ歌曲・オペラを中心とした声楽の演奏研究です。言葉や詩の想いを聴く人に届けるために、呼吸法や発声法、美しい発音の方法を探求しながら表現を磨いています。また、それぞれの国の言葉や文化、音楽の背景を理解することで、より豊かな演奏表現が生まれることを実感しています。日々のレッスンや演奏会での経験を通して、自然な声で作詩家や作曲家の想いを伝えられることを目指し、研究を重ねています。



ドイツ歌曲リサイタル《美しきドイツ歌曲にこそよせて》の演奏風景



北原白秋の詩による日本歌曲コンサート

研究・社会活動実績

日本歌曲、ドイツ歌曲、オペラを中心に、言葉と音楽の融合を探求する声楽の演奏研究を行っている。国内外でのリサイタルやコンサートを通して、詩と音楽が響き合う豊かな世界を発信し、より深い表現を追求している。地域の音楽祭や学校での演奏・指導、公開講座などを通じて音楽の魅力を広く伝えるほか、声楽コンクールの審査や文化奨励賞の選考委員として、専門的立場から地域文化の発展にも寄与している。

産学官連携の可能性

声楽を通じた地域文化の振興をテーマに、行政や教育機関、文化団体との連携が可能である。音楽による地域活性化事業、学校や福祉施設での音楽交流、地域詩人や作曲家との共同制作などを通して、芸術を地域に還元する活動を推進できる。今後は、地元自治体や企業との協働によるコンサート企画や音楽教育プログラムの開発を通じて、音楽文化のさらなる発展に寄与していきたい。

子どもの描画発達を支える教育実践の構築

小田 久美子

Kumiko Oda

人間生活学部／児童学科

教授／博士（学校教育学）



研究業績データベース

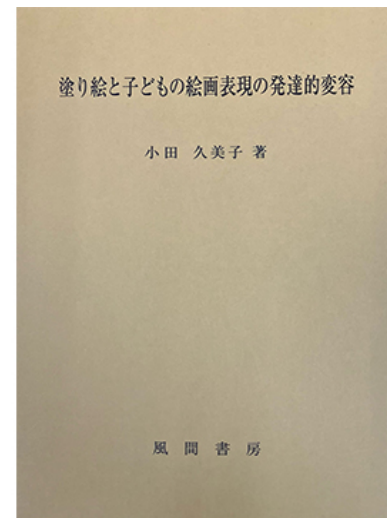
YouTube公式動画

キーワード

造形／子どもの絵／描画発達／イメージの媒介／図画工作科／美術教育／動物表象

研究概要・実践活動

2012年度から科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）の助成を受け、幼稚園と大学の連携により、子どもの描画発達を促進する支援の推進を喫緊の課題として教育実践研究を進めています。研究をまとめ検証資料に基づく原著論文として執筆し、学術雑誌に積極的に発表することにより、我が国の芸術教育・教育実践学研究的発展に寄与していきたいと考えています。また、研究で得た知見と油彩での表現活動の実践者としての経験より、子ども一人ひとりの表現を尊重しながら造形活動の可能性を広げる支援を行っています。多様な造形技法を活用した教材開発や、保育者・教育者向けの研修プログラムの構築にも取り組んでいます。



研究・社会活動実績

- 大学コンソーシアム岡山 日ようび子ども大学 出展（2012）
- 大学子育てプロジェクト 講師（2012～2019）
- 大学公開講座 講師（2013）
- 岡山市教職員研修 保育実技研修講座 講師（2021）
- 高梁市 学校教育研修所就学前教育部研修会 講師（2021）
- 岡山市 地域と家庭の子育て推進事業研修会 講師（2023）
- 岡山県教育委員会 新規採用研修 講師（2024）

産学官連携の可能性

これまで、大学による教育・研究成果の地域還元を通じて、行政（市・県教育委員会）や保育・教育現場との連携を深めています。公開講座や講義・実技演習などの研修、子育て支援事業を通して、現場の保育・教育者や地域と連携した子どもの育ちを支える実践的な知見の共有や人材の育成が考えられます。

わらべうたと読書体験で育む言葉と文化

片平 朋世

Tomoyo Katahira

人間生活学部／児童学科

講師／修士（学術）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

児童文化／絵本／わらべうた／児童文学／読書支援／読書会／保育実践／地域連携・子育て支援

研究概要・実践活動

児童文化・絵本・わらべうたを軸に、乳幼児期から児童期にかけての言語発達・表現活動を支援する保育実践研究を展開。具体的には保育現場や養成教育において、わらべうた・物語・遊びを用いた言語・文化体験が子どもの「言葉と文化の育ち」に及ぼす影響を明らかにし、養成カリキュラムや教材の開発にも取り組む。地域の子育て支援施設や公民館等と連携し、絵本講座・わらべうたワークショップ、児童文学の読書会、ボランティア養成講座を継続実施。



研究・社会活動実績

研究概要:児童文化・児童文学を基盤に、わらべうたや絵本、児童文学作品の読書会を通して子どもの言語・文化的成長を支援する。社会活動実績:地域の保育施設や子育て支援の場、図書館等において、絵本講座・わらべうた実践・読書支援プログラムを継続実施。岡山県の事業子育てカレッジに指定された児童学科の「清心子育てプロジェクト」発足当初から活動に従事。

産学官連携の可能性

子どもの言語・文化を軸とした保育・教育の実践研究を基盤に、自治体（子育て支援・地域児童文化振興）との共同プロジェクトが考えられる。また、産学官が連携して新たな保育・教育サービスや地域文化創出を図ることが期待される。

絵画制作を通して感性を育てる。

片山 裕之

Hiroyuki Katayama

人間生活学部／児童学科

教授／芸術学士



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

絵画／絵画制作／新制作展／関西新制作展／岡山県美術展覧会／青木繁記念大賞展／前田寛治大賞展／ギャルド・ファイブ展

研究概要・実践活動

講義では素描と油彩の実技を通して、美術教育の基礎としての造形能力を身につけることを目標として指導している。加えて、身近なものや芸術作品に触れることにより、「美しさ」とは何かを探求し、自らの人間としての感性を養うことを目指している。また、新制作協会の会員として画家として制作活動を行っている。



個展、油絵「ある風景2025」(227×889cm) 倉敷市立美術館



第83回新制作展「ある風景2019」(291×291 cm) 国立新美術館



第84回新制作展「ある風景2020」(218×388 cm) 国立新美術館



第85回新制作展「ある風景2022」(218×388 cm) 国立新美術館

研究・社会活動実績

「現代に対する不安と希望」をテーマにして、身近な風景をモチーフとして油彩による絵画作品制作を続けている。主に水門や遊具等を用いて排他的で不安に満ちた世界を表現する一方、タンポポやのげしなどの野の草花を画面の中で浮遊させることにより希望の象徴として色鮮やかに表現することを試みている。

産学官連携の可能性

算数の授業改善で子どもの考える力を育てる

杉能 道明

Michiaki Sugino

人間生活学部／児童学科

准教授／学士（教育）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

数学的な見方・考え方／数学的活動／思考力・判断力・表現力／数学のよさ

研究概要・実践活動

主な研究テーマは「思考力・表現力を育成する算数科の授業づくり」です。これから将来の予測が困難な時代が来ることが予想されます。そんな社会を生き抜き未来を創造する子どもたちに育成すべき資質・能力の中核は「思考力・判断力・表現力」です。自分の頭で考え、判断し、表現すること、そして他者と協働し自他の考えを批判的に振り返り、よりよい考えを見いだすことが求められています。算数科の問題解決型の授業づくりを通して、いかに子どもに思考力・表現力を育成すべきかを研究しています。①小学校算数の授業改善、②算数科の教科書の執筆、③大学での教員養成、等を通して、「子どもの考える力を育てること」にやりがいを感じています。



研究・社会活動実績

160を超える国公私立の小学校や研究組織（〇〇研究会、〇〇研修所等）からの依頼を受け、学校現場の先生方と算数の授業研究を行ったり、算数の授業改善に関わる講演を行ったりしてきました。算数科の教科書「わくわく算数（啓林館）」の著者として執筆に関わっています。子どもたちの考える力を育てる教科書、子どもたちが使いやすく、先生方が使いやすい教科書を目指し、全国の多くの先生方と協働して教科書を創っています。

産学官連携の可能性

一般財団法人理数研究所の「算数・数学の自由研究」作品コンクールに関わっています。小学生対象の「算数自由研究教室」の講師を務めたり、「算数・数学の自由研究」の審査委員を務めたりしています。子どもが日常生活や学校での学習などから興味をもった事象を、数学的な見方・考え方を活用して主体的に探究していく姿勢を培うことをねらったこの取り組みは、未来を創造する子どもたちの探究心を育てることにつながると思います。

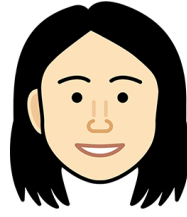
こころとからだの不思議に触れてみよう

梶原 彰子

Akiko Sugihara

人間生活学部／児童学科

講師／博士（医学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

臨床心理学/心身医学/箱庭療法/スクールカウンセリング/ストレス/心理アセスメント

研究概要・実践活動

子どものこころとからだの関係を研究しています。特に、からだに症状を表しやすい心身症の子どもへのアセスメントと治療の研究を行っています。子どもは日々さまざまなストレスの中で生きています。言葉で訴えることが出来ないぶん「からだことば」と言われるようにさまざまな症状が出てくることがあります。心理アセスメントとしては、小児ANエゴグラムやP-Fスタディについての研究を行っています。心身症児への治療については、箱庭療法を中心とする遊戯療法、表現療法の実践、研究を行っています。



研究・社会活動実績

小児心身医学会の評議員、資格制度委員、研修委員を勤めています。40年以上続いている岡山箱庭療法研究会の事務局をつとめ、年に一回、心理臨床家に対する事例検討会を行っています。平成28年岡山県小児保健活動助成事業「入院中の子どもの心理・発達支援に関する研究」、令和7年 日本小児心身医学会研究助成金制度「小児心身診療におけるBioPsychoSocialな心理アセスメントの検討」研究助成を取得しました。

産学官連携の可能性

養護教諭の先生方への「子どものこころとからだの関係」「思春期の子どものこころ」の研修を行ったり、令和7年度くらしき市民講座「子どものストレスとからだの症状」について研修を行いました。県立高校での課題研究における指導・助言の講師を勤めたりしました。

通常学級における多様な子どもの包摂

土居 裕士

Hiroshi Doi

人間生活学部／児童学科

准教授／学士（教育学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

通常の学級における特別支援教育／インクルーシブ教育／教科指導／学級経営／学校経営／教師支援

研究概要・実践活動

通常の学級に在籍する子どもの約8.8%が学習面や行動面で困難を抱えているとされる中、特別支援教育やインクルーシブ教育の視点を生かした授業づくり・学級づくりの実践と研究を進めています。市内の小学校と連携し、学級が機能しにくい状況にある教師への支援や、インクルーシブ教育を推進するための研修を実施しています。また、大学授業においても、特別支援教育の理念と教科指導を融合させ、学生と共にすべての子どもが学びに参加できる授業デザインの探究に取り組んでいます。



研究・社会活動実績

通常学級におけるインクルーシブ教育の方向性に関する研究を継続して行っています。発表論文として「通常学級におけるインクルーシブ教育の方向性に関する一考察」「インクルーシブ教育における教師の認識」などがあります。さらに、市内小学校での授業改善支援やスクールサポート研修の企画・実施を通じて、地域教育力の向上に貢献しています。

産学官連携の可能性

多様性を尊重し、すべての子どもが学びに参加できる教育環境の構築は、学校だけでなく地域社会や企業、行政にとっても重要なテーマです。教育現場への助言、研修の企画、教育委員会としての協働などを通じて、インクルーシブな社会づくりに寄与できます。

保育者の資質向上を育む保育実践

西山 節子

Setsuko Nishiyama

人間生活学部／児童学科

講師／修士（教育学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

幼児教育／保育／初等教育実習／保育心理学／幼児理解／子育て支援／保育者養成

研究概要・実践活動

現職保育者や保育者養成における資質向上を目指し、保育者に求められる「幼児理解力」に焦点を当て取り組んでいる。幼児理解は保育の基盤であるが、その捉えは保育者によって様々である。そこで、幼児理解の根底にあると考えられる「保育者の感性」に着目し、保育者の感性がどのように幼児理解に影響を与えるのかを探求している。その特性を明らかにすることで、保育者養成や研修のあり方を見直し、より深い幼児理解に基づく質の高い保育実践の実現を目指している。



保育者対象講演会



初等教育実習事前指導（実践指導）



初等教育実習事前指導（子どもの声を大切に
した保育実践）

研究・社会活動実績

教育委員会や県教育センターが実施する現職保育者向け研修会で、幼稚園教諭としての実戦経験をもとに、幼児理解に基づいた保育の展開やカリキュラム・マネジメントについて講演やワークショップを行っている。具体的な事例を通して、子どもの思いや行動の背景を読み取り、保育に活かす視点を共有し、保育者の感性と幼児理解力の向上を目指している。

産学官連携の可能性

大学での保育者養成や現職保育者研修では、幼児理解に基づく保育実践や子どもの援助、環境・活動の工夫、保護者との連携など、保育者の資質向上につながる教育・実践を展開している。これらの知見を研修や教材開発に活かすことで、保育者の感性や幼児理解力を育み、保育の質向上と地域の子育て支援に貢献することができる。

障害等、特性や困難を抱える方の適応支援

東 俊一

Shunichi Higashi

人間生活学部／児童学科

准教授／修士（教育学）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

知的障害・発達障害児者への支援／障害児療育／障害児保育／児童臨床心理学／障害児者の社会生活支援／生活の質向上支援／学校不
適応支援／社会適応支援

研究概要・実践活動

応用行動分析的な視点を中心に、社会の中で様々な困難を抱える人
たちに対する支援、現在および将来にわたる生活の質や適応の促進
について実践的に研究をしています。



研究・社会活動実績

障害を抱える子どもや学校生活で不適応や困難が生じている子ど
もや保護者、教員への支援実践、および各自が持つ「強み」を生
活の自立にどう生かしていくかについて検討しています。

産学官連携の可能性

社会の中で満足し、より自分らしく満足して生きていくことは
我々が保障されるべき不可欠な項目です。様々な事情により、“暮
らしにくさ”を抱える方々をどのように支援していくべきかを考え
ています。

意思を尊重し自律を促す教育・ケアへの挑戦

福原 史子

Fumiko Fukuhara

人間生活学部／児童学科

准教授／博士（学校教育学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

小学校英語／国際理解／モンテッソーリ教育／コスミック教育／モンテッソーリケア／家庭教育／子育て支援／待つ力／育児効力感

研究概要・実践活動

子どもが自らの意思で活動を選び、粘り強く取り組み、達成感を得て次の挑戦へ進むサイクルを安心して回せる環境づくりを探っています。それは、子どもを信じて「待つ」ことにつながります。最近では保護者の「待つ力」と「育児効力感」の向上に着目した支援プログラムの開発に取り組むなど、変化の激しい社会の中で子どもも大人も幸せに生きる方法を模索しています。モンテッソーリ教育を基盤に、小学校英語教育、保護者支援、子どもの社会情動的スキルの育成、認知症モンテッソーリケアへの応用にも取り組んでいます。



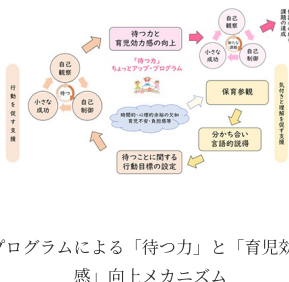
英語絵本の読み聞かせ



モンテッソーリ教育の実践



待つ力ちょっとアップ・プログラム



プログラムによる「待つ力」と「育児効力感」向上メカニズム



モンテッソーリ・ケア研修会

研究・社会活動実績

科研費・基盤(C)「保護者の待つ力を高める育児効力感向上プログラムの実証研究」(2024~2026年度)及び挑戦の萌芽「コスミック教育の今日的意義と幼稚園・小学校・家庭及び教員養成機関における展開」(2011~2013年度)等を推進。幼児期のモンテッソーリ教育実践と指導者養成、高齢者の認知症モンテッソーリケアに取り組み、教育と福祉の両面から社会貢献を目指しています。また、英語絵本の読み聞かせや小学校英語教育実践・指導・助言、岡山県「親育ち応援学習プログラム」のリニューアル、こくさいこどもフォーラム岡山 (INTERKIDS) 等にも参画し、子どもの自立や自律的な学びを支援しています。

産学官連携の可能性

家庭教育から幼児教育、小学校教育、中高生のグローバル教育、高齢者ケアまで幅広い実践を通じて、教育・福祉分野の課題解決を目指しています。また、小学校英語教育支援や保護者支援プログラム開発の経験を活かし、自治体・教育機関・企業との連携による家庭・学校・地域支援、人材育成の展開が可能と思います。

音楽表現領域における保育実践について

藤掛 絢子

Ayako Fujikake

人間生活学部／児童学科

講師／修士（教育学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

音楽表現領域における保育者養成教育・保育実践

研究概要・実践活動

研究の出発点は、常に、乳幼児期の子どもたちの姿にあると考えています。子どもたちの音・音楽への興味関心を踏まえて、いかに保育実践を構想し、実践していくことができるか、国内外における乳幼児教育・保育学の知見を取り入れながら研究を進めています。子どもの姿から実践を振り返る過程で、音楽表現にかかわる保育構想力や実践力の養成・向上が図られていくプロセスを、現職の先生方、および、保育者を目指す学生と探究し続けています。研修においては、実際に幼稚園や保育園、こども園で観察された事例をまじえた講義や、音楽の演習を通して、子どもと音・音楽とのかかわりを支える保育者の援助や環境構成についての学びを支援しています。



研究・社会活動実績

岡山市教職員研修講座や高砂市幼稚園教育課程研修会等、現職研修を通して、現場の先生方に、最新の研究動向をお伝えするとともに、音楽表現領域における保育実践の在り方をともに考えてきました。また、研究で得られた成果は、イギリスでの国際学会等で発表し、各国の先生方との議論を深めています。

産学官連携の可能性

これまで、現職研修や教員免許状更新講習講師として、音楽表現領域における保育実践の在り方を、自治体や園の先生方と連携・協働しながら発信し、共有してきました。また、そうした研修においては、科研費の助成を受け、研究を進めている内容を踏まえ、講義・演習内容の工夫と充実を図ることで、現場の先生方に成果を還元できるよう努めています。

保育者養成における実践的教育研究

三宅 一恵

Kazue Miyake

人間生活学部／児童学科

准教授／家政学士



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

幼児教育／保育／初等教育実習／絵本の読み聞かせ・わらべうたの実践

研究概要・実践活動

研究領域は、保育者養成における実践的教育および幼児理解に関する研究である。幼稚園教諭・園長として長年勤務した経験を基盤に、保育領域「人間関係」に焦点を当て、子どもの育ちを多面的に理解するための教育実践を探究している。また、わらべうたや絵本などの児童文化を通して、保育者に求められる感性・表現力・幼児理解を育む授業方法についても研究している。これらの実践的研究を通して、学生が理論と実践を往還しながら、子どもとのよりよい関わりを築ける保育者として成長することを目指している。



「清心子育てプロジェクト」絵本の読み聞かせ



「清心子育てプロジェクト」歌と光のクリスマスチラン



産院の会報記事

研究・社会活動実績

教育委員会等が主催する保育者を対象とした研修として、幼児の主体性を育むための保育者の援助や幼児理解に関する講演や、わらべうたを取り入れた保育を目指した保育者自身がわらべうたを知り楽しめるような実践を行っている。また、毎月1回、産院で行っている子育て支援の一環として、0歳児の親子を対象に、わらべうたや絵本の読み聞かせを実施している。

産学官連携の可能性

岡山県が実施する「おかやま子育てカレッジ」の一環として、「清心子育てプロジェクト」に取り組み、地域における子育て支援の場を担っている。毎年、地域の親子が参加して楽しめる活動を企画し、学生とともに実践している。2024年度には、「わらべうたであそぼう！」や「歌と光のクリスマス」などを開催し、地域の多くの親子や子どもたちに参加していただいた。

双方向的で創造的な即興表現の学習指導

安江 美保

Miho Yasue

人間生活学部／児童学科

准教授／修士（教育学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

表現系ダンス／即興表現／授業／指導者／実践的研究

研究概要・実践活動

必修期における表現系ダンスの学習は、表したいイメージや動きが個々によって異なる「ゴールフリー」な学習に特徴があります。そのため、特別な技術がなくても、題材・テーマを手がかりに、「いま、ここ」で感じた身体感覚をもとに、自由に表現することができます。一方で、指導者にとっては、学習者の動きのあるがままを認めるだけでは面白さに触れることは難しく、その動きがどうなっていくとより面白くなるのか指導の原理が重要となります。そこで、「固有の質感を有する題材・テーマ」と「多様な質感を有する題材・テーマ」の典型的な内容を取り上げ、誰もが指導できる指導の原理を探る実践的な研究に取り組んできました。



合図で瞬時に2人でポーズ



研究報告書



リーダーに続いて踊ろう！



指導の手引き（スポーツ庁）



作成協力した映像コンテンツ
（スポーツ庁）

研究・社会活動実績

平成29年告示の「小学校学習指導要領解説・体育編」の専門的作業協力者及び、「子供の体力向上指導者養成研修会」（文部科学省・2013、2014、2021）講師や、教師用指導資料「小学校体育（運動領域）指導の手引き」（スポーツ庁・2022）作成協力者を務めました。また、2012年に岡山県女子体育連盟を創立（発起人の1人）し、生涯ダンスの実現に向けて多様な人と人との繋がりを大切にしたい事業に取り組んでいます。現在、会長を務めています。

産学官連携の可能性

表現系ダンスの授業の一般化に向けては、指導の原理の究明とともに、学習者が、授業で取り上げた題材・テーマの動きの世界へ没入していくことに向けて重要な支援となる音源（BGM）が重要となります。その点に着目し、必修期の小学校学習指導要領解説・体育編及び、中学校学習指導要領解説・保健体育編に例示されている題材・テーマにふさわしい音源作成に、音楽作曲業界、スポーツ庁、大学研究者との産学官連携の可能性がります。